



須成祭稚児衣裳 (蟹江町歴史民俗資料館蔵)

須成祭は、400年以上前から続く富吉建速神社・八剣社（地元では須成神社と称されている）の祭礼で、8月の第1土曜日に宵祭が、翌日の日曜日に朝祭がおこなわれる川祭であり、県指定無形民俗文化財になっている。

朝祭の3週間前に稚児定めがあり、役者衆として稚児2人（4～5才）、大鼓2人（6～7才）、太鼓2人（9～10才）、楽1人（11～12才）が地元の長男から選ばれる。祭の当日には、それぞれ供の者と行列をなして祭の舟に乗り、祭ばやしを奏する。その際、稚児は稚児衣裳の上に狩衣をつけ、白足袋をはき、手には扇子をもち、頭に冠をかぶる。

稚児衣裳は、稚児に選ばれると各々の家で用意をしたものである。稚児衣裳の絵柄には、稚児に出す子どもが勇ましく育つようにとの親の願いがこめられ、時代を問わず選ばれたのは昔話や歴史上の英雄、虎や獅子などの動物といった勇壮なもので、龍は雨を呼ぶとの理由で避けられたという。写真の衣裳は昭和12年から16年頃につくられたもので当時の時代背景をよくあらわした絵柄になっている。

しかし、稚児衣裳を一枚仕立てるのにはかなりの費用がかかるため、平成7年からは、須成神社の敬神会が今まで使用された衣裳を収集し、貸し出すこととなり、今後は各々の家で稚児衣裳を仕立てる必要はなくなった。

(学芸員 大野 麻子)

目 次

●平成7年度愛知県博物館協会総会報告	2
●平成6年度歴史民俗部門研修会報告	3
●新規加盟館紹介	4

平成 7 年度

愛知県博物館協会総会報告

平成 7 年度愛知県博物館協会の総会が、5月18日(木)名古屋市千種区の「ルプラ王山」で開催され、参加館64館、88人の出席がありました。以下総会の概略を報告します。

1. 会長挨拶…福田清彦氏

(愛知県陶磁資料館館長)

2. 表 彰…春日井市道風記念館

主任 落合 哲氏

東海銀行貨幣資料館

前館長 下田光延氏

(財)日本モンキーセンター

飼育第一担当主任 棚橋 篤氏

(財)博物館明治村

管理リーダー 市野一雄氏

〃 村瀬忠男氏

鳳来寺山自然科学博物館

前館長 松井 保氏

野外民族博物館リトルワールド

主任研究員 高橋 貴氏



3. 新規加盟館紹介

七宝町郷土資料館

4. 議 事

(座長 愛知県陶磁資料館 館長 福田清彦氏)

(1)平成 6 年度事業報告及び決算報告について

1. 愛知県博物館協会設立30周年記念事業

(1)記念式典 平成 6 年 6 月 6 日(月)
電気文化会館

(2)記念講演会 講師 国立科学博物館館長
川村恒明氏

テーマ「文化の時代と博物館」

(3)記念表彰 ヨコタ博物館館長
横田正臣氏

(財)日本モンキーセンター園長

小寺重孝氏

名古屋市科学館学芸課長

三輪 克氏

(4)記念史発行 B5版 90頁 1,000冊



2. 研修会の実施

(1)愛知県博物館等職員研修会

平成 6 年 9 月 1 日～2 日 津島児童科学館

(2)部門別研修会

⑦自然科学部門

平成 7 年 2 月 8 日 名古屋市東山動植物園

④美術部門

平成 7 年 2 月 24 日 昭和美術館

②歴史民俗部門

平成 7 年 3 月 2 日 名古屋市博物館

3. 東海地区博物館連絡協議会総会の参加

平成 6 年 6 月 16 日～17 日 甲府市

4. 第19回東海三県博物館協会交流研修会の参加

平成 6 年 10 月 4 日～5 日 岐阜市

5. 表彰の実施

功労賞 4 名 (氏名略)

6. 印刷物の作成・配布

(1)「おでかけガイド—愛知の博物館」

春・秋 計 2 回

(2)協会報「愛知の博物館」No.60～61

7. 会 議

(1)30周年記念式典 (2)総会 1 回 (3)理事会

1 回、(4)実行委員会 7 回

8. 平成 6 年度加盟館

(1)退会 1 館 (2)新規加盟 5 館

9. 平成 6 年度決算報告 (監査報告、昭和美術館)

以上説明の後審議され、いずれも承認されました。

(2)平成7年度事業計画及び予算について

1. 事業

(1)愛知県博物館等職員研修会

愛知県教育委員会と共に博物館関係施設等に勤務する職員を対象とする。

◎期日 平成7年8月30日～31日

◎会場 豊川閣寺賓館

(2)部門別研修会

自然科学部門、歴史民俗部門、美術部門

○平成8年2月頃・会場未定

(3)平成7年度東海地区博物館連絡協議会総会

◎期日 平成7年6月20日～21日

◎会場 神奈川県立歴史博物館

(4)第20回東海三県博物館協会交流研修会

◎期日 平成7年10月4日(木)～5日(金)

◎会場 三重県・斎宮歴史博物館

(5)表彰(前記2.のとおり)

(6)印刷物の編集・発行

協会報「愛知の博物館」、「おでかけガイド」、「東西南北」「加盟館職員録」

2. 会議

総会 1回

理事会 2回

実行委員会 12回

3. 平成7年度予算(案)

以上説明の後、審議されいずれも承認されました。

(文責、愛博協事務局)

平成6年度

歴史民俗部門研修会報告

平成6年度愛知県博物館協会歴史民俗部門研修会は、平成7年3月2日(木)名古屋市博物館において行われました。当日の参加者は、博物館関係者に学校関係者も加えて49名、午前と午後に分けて二人の講師を招き、民俗・民具の調査法について話を聞きました。

1. 民俗調査法

伊藤 良吉(名古屋民俗研究会代表)

伊藤先生は、長年にわたって民俗調査に携わり、その範囲は県内にとどまらず、日本全国、東南ア

ジアにまで及んでいます。その豊富な経験の中から、調査の実際を自らの体験を交えつつポイントとなる点を話されました。

特に、私たちが一般的に調査をする際に、目的にこだわり過ぎて見落としがちになる点、例えば調査地域の景観の観察の重要性や、時期を逸ての再調査の必要性を指摘され、また、調査者の主観による安易な調査資料の取捨の危険を柳田国男の言葉を引用して改めて強調されました。

また、調査地における人との出会いと、その後も続く交流についての話は、民俗調査の本質は一対一の人間関係であり、調査には終わりがないこと(先生の言によれば無限の調査時間と無限頁の報告書が必要とのこと)を教えられました。

2. 民具調査法

脇田 雅彦(日本民具学会)

脇田先生は、岐阜県藤橋村での民具資料の採集整理・展示活動をはじめとして主に岐阜県内の山村において民具の蒐集と研究を行っておられます。

先生が民具を蒐集するにあたっては、それを実際に使った人々の形見分けを受けるという姿勢を持ちつつ、併せて歴史の表にはけっして現れるこのない人々の生きざま(個人史)を明らかにすることを目的としておられます。

これを先生の言葉を借りて表現すれば、民具の蒐集は先人の魂の供養であり、収蔵庫は靈安殿だということになります。ですから、民具調査では、道具とその使用者を切り離して考えることができないということを強調されました。

また、蒐集とは文字どおり鬼の心を持って資料を集めることであるという言葉に、生活の変化に伴って急速に消えつつある民具資料に対する先生の危機感が感じられました。

お二人の話の中で、共通していたのは、調査の相手となる人物(話者)を自分の師として常に敬意を持って接しているという点で、日頃、調査という名のもとに民俗・民具の収集に携わっている者は決して忘れてはならないということを改めて感じさせられました。

講師のお二人は共に、職業として調査研究機関に属している訳ではなく、全く個人の立場から精力的に活動しておられ、その体験から導かれた

数々の談話は、常日頃、博物館・資料館という建物の中で豊富な資料に囲まれていながら、ともすれば「モノ」を「物」として事務的に扱いがちである私たちに大きな刺激を与えてくれるものでした。

今回のテーマの民俗・民具の調査法というのは、実技的なものとは異なり、専ら経験によって身につけていく性質のものであるだけに、研修の効果が翌日から目に見えて生きるわけではありませんが、私たちが日常様々な形で問題に直面しているテーマでもあります。民俗事象や民具の実践的な整理の仕方なども見直すべきことは多々ありますが、この研修ではその根本にあたることを今一度深く考え直す良い機会になったと思います。

また、最後にデジタル写真機器の説明がフジ写真フィルム株式会社からあった。

(尾西市歴史民俗資料館 小林 弘昌)

新規加盟館紹介

平成7年度に当協会へ加盟されました館の概要を、ここに紹介します。

七宝町郷土資料館



所在地 〒497 海部郡七宝町遠島字十坪119-3

TEL (052) 443-3033

交 通 名鉄バス（津島線）

安松より徒歩15分

名鉄電車（津島線）

七宝・木田駅よりタクシーで約5分

名古屋駅から車で約20分（10km）

沿革 七宝町の歴史を中心となるものは、町名の由来ともなっている七宝焼である。

尾張七宝焼は、海東郡服部村（現名古屋市）の梶常吉を創始者とするといわれている。

その技術は七宝町遠島の林庄五郎へ、さらに塙本貝助へと伝えられることにより、この地に七宝焼の基盤がつくられ、現在のように七宝焼の町として知られるようになった。

当資料館では七宝焼を中心とし、また人々の生活に基づいた資料を展示している。

概 要 1階展示室は、軸・古文書などの歴史資料、生産・生業に関するもの以外の民俗資料などを展示。

2階展示室は、七宝焼の歴史に関する説明パネルや古代七宝（江戸末期～昭和初期のもの）、戦前まで使われた焼成炉・釉薬炉・道具などを展示。

また、2階収蔵庫を展示室として転用し、農耕具・織機など生産・生業に関する民俗資料を展示。

施 設 開館 昭和56年11月4日

構造 鉄筋コンクリート造 2階建

面積 建設面積134.864m²

床面積244.49m²

1階122.249m²

2階122.249m²

開 館 9:00～16:00

休館日 毎週火曜日 祝日

年末年始（12月29日～翌年1月3日）

その他臨時に休館とすることがあります。

入場料 無 料

「愛知の博物館」No.62

発 行 日 平成7年11月30日

編集・発行 愛知県博物館協会

〒489 愛知県瀬戸市南山口町234番地

愛知県陶磁資料館内

TEL <0561> 84-7474

FAX <0561> 84-4932